



銘柄略称:オリコンHD

証券コード:2498

2020年9月期 決算説明会

2020年11月27日

代表取締役社長 野崎 秀則



株式会社

オリエンタルコンサルタンツホールディングス

プレゼンテーション・アウトライン

- I： 当社グループのご紹介
- II： 今回の決算説明会のポイント
- III： 2020年9月期 業績・成果ハイライト
- IV： 2021年9月期 通期業績見通し
- V： 質疑応答

I：当社グループのご紹介



ORICON HD

(1)当社グループのあゆみ

(株)オリエンタルコンサルタンツを中心に、
着実に成長してまいりました。

1957年	○(株)オリエンタルコンサルタンツ創立 (道路、鉄道等のコンサルタント事業で発展)
1999年～	○オリコンサルグループを形成 ○株式公開 (現JASDAQ)
2006年～	○オリコンサルグループを継承し、(株)ACKグループを設立 ○(株)オリエンタルコンサルタンツの海外事業を大幅に拡大 ○グループとしての価値観を共有できる、さまざまな企業の参画
2018年～	○(株)オリエンタルコンサルタンツホールディングスに社名変更

1957年～



1999年～



2006年～



2018年～



(2) 当社グループの提供サービス

国内外の社会インフラを中心に、
企画・提案～計画・設計～建設・監理～運営・保全まで、
多様なサービスを、ワンストップで提供しています。



【イメージ】当社グループが対象とする社会インフラ(抜粋)

(3)グループ会社の紹介

多様な専門技術を保有している6社を中心に運営しています。

会社名	創立	主な技術サービス・商品
(株)オリエンタルコンサルタンツ	1957年	交通・都市・地域・環境・構造・防災・プロジェクトマネジメント など
(株)オリエンタルコンサルタンツ グローバル	2014年	道路・鉄道・港湾・空港・地域開発 経済及び産業開発計画 など
(株)アサノ大成基礎エンジニアリング	1962年	地質・土質・地盤、調査・構造、さく井、 地下水、建造物解体、施工 など
(株)中央設計技術研究所	1947年	上下水道・廃棄物・環境調査・計画・ 設計・施工管理・維持管理 など
(株)エイテック	1968年	建設・交通に関する調査・設計・監理・ 測量・計器類 など
(株)リサーチアンドソリューション	1978年	アプリソフトウェア開発・販売、 バックオフィスソリューション など

主要な連結会社を記載

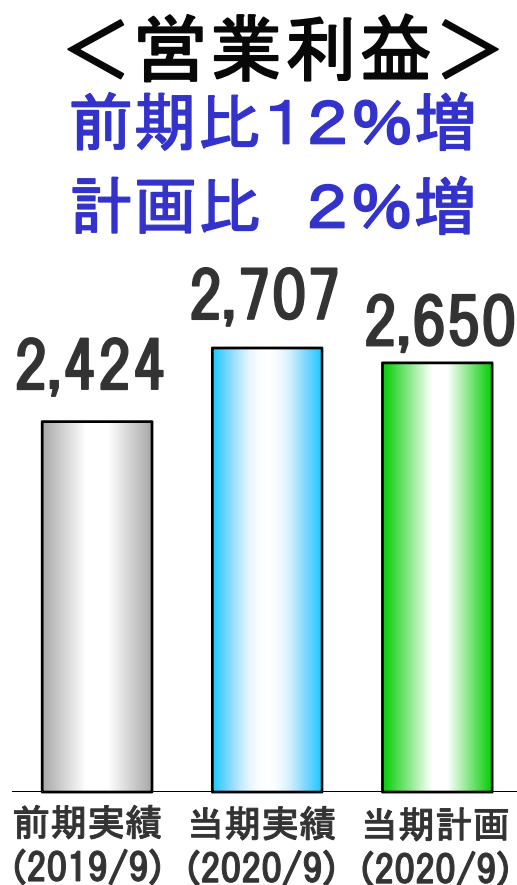
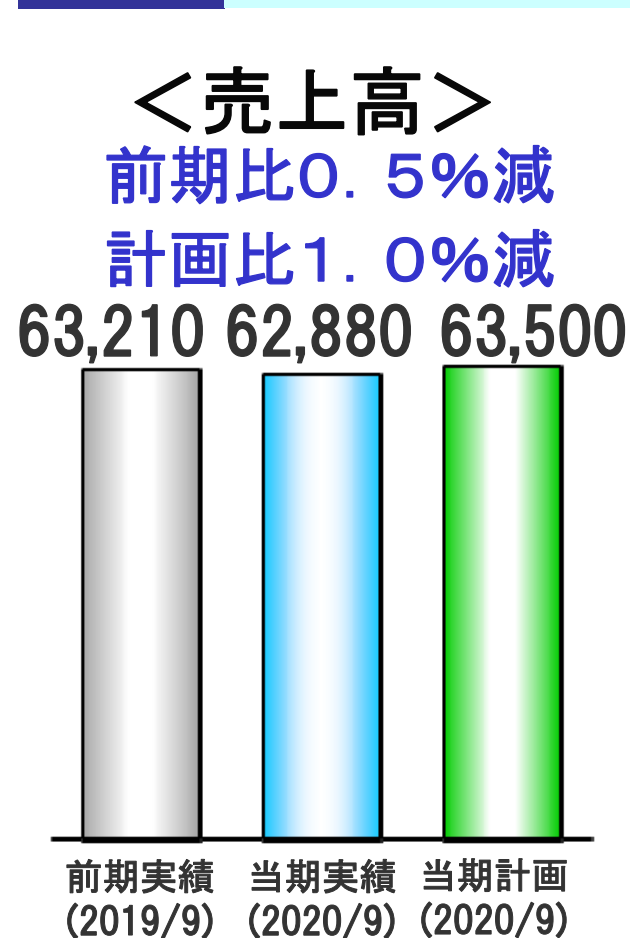
Ⅱ：今回の決算説明会のポイント



今回の決算説明会のポイント

1

- 新型コロナの影響で売上高は前期並み
- 営業利益は9期連続で増益を達成



今回の決算説明会のポイント

2

■ **7期連続**の増配

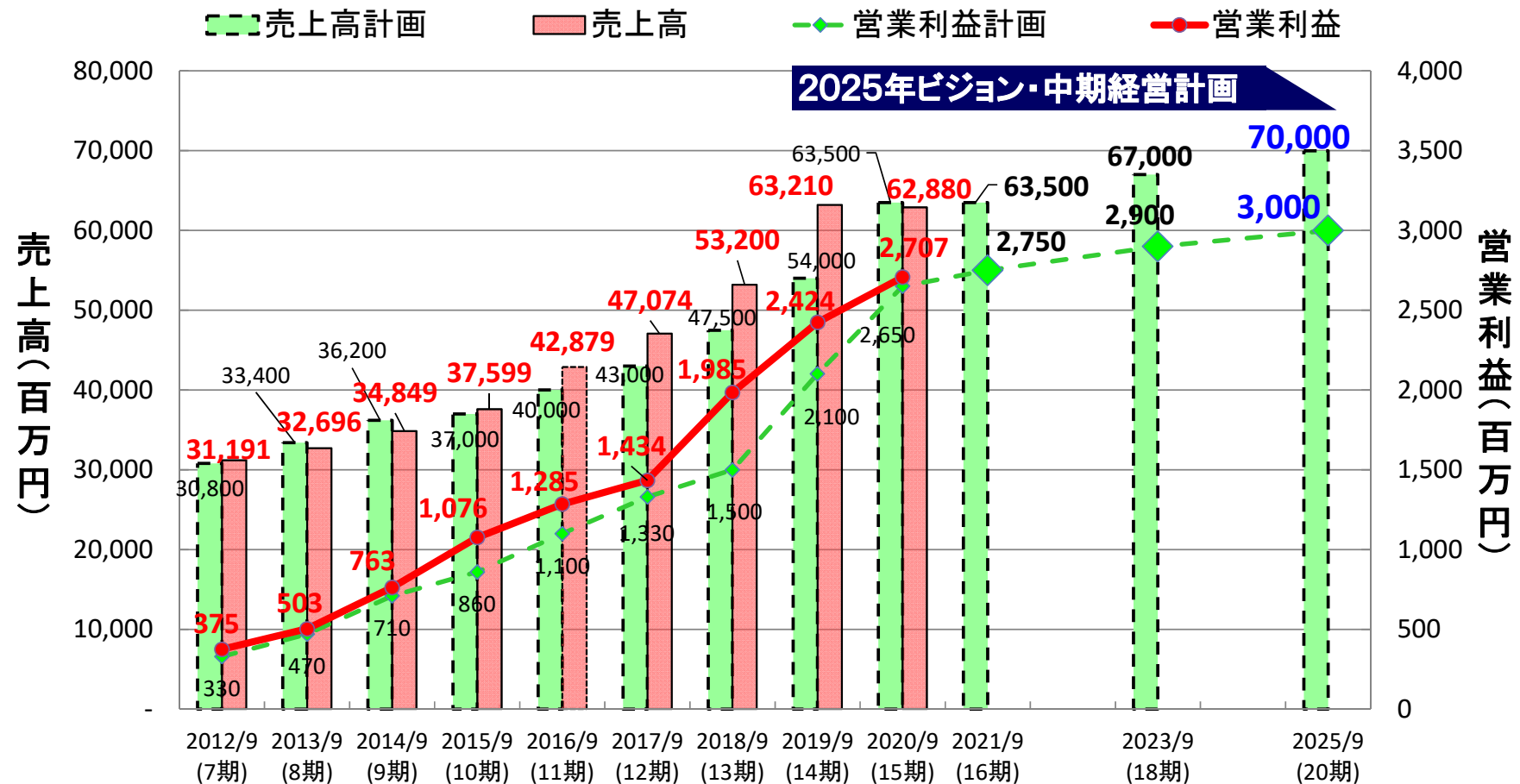
■ 1株当たり配当は**過去最高**の42.5円

	2013/9 (8期)	2014/9 (9期)	2015/9 (10期)	2016/9 (11期)	2017/9 (12期)	2018/9 (13期)	2019/9 (14期)	2020/9 (15期)
普通配当	7.5円	10.0円	10.0円	20.0円	22.5円	30.0円	37.5円	42.5円
記念配当	—	—	2.0円	—	—	—	—	—
合 計	7.5円	10.0円	12.0円	20.0円	22.5円	30.0円	37.5円	42.5円

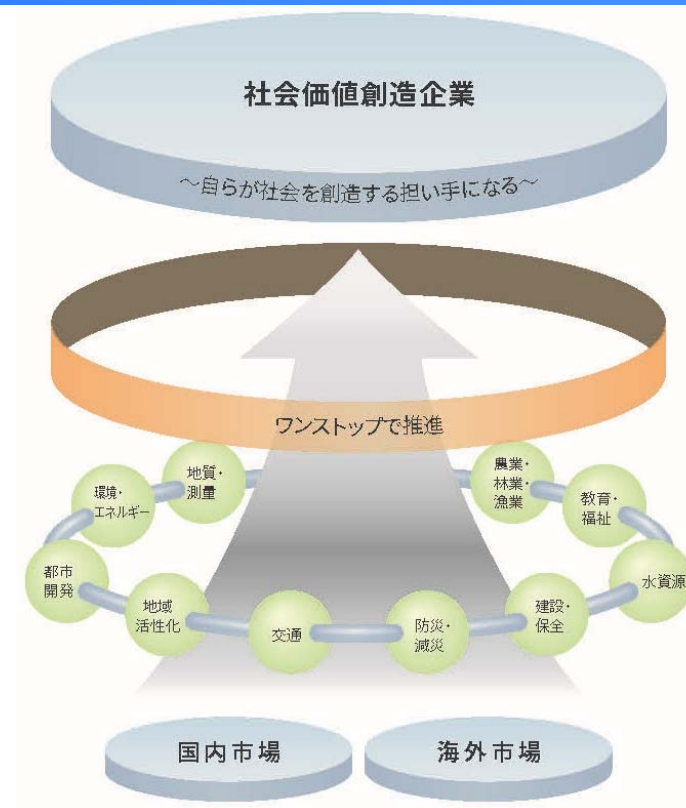
今回の決算説明会のポイント

3

■2025年中期経営計画の目標達成に向け、 順調に収益を上げ成長



Ⅲ：2020年9月期 業績・成果ハイライト





1. 2020年9月期 通期業績

(1)連結受注高

- 受注高は、前期比で約34億円(3.9%)増加し、918億円
- 受注残高は、約302億円(25.5%)増加し、1,488億円

受注高、受注残高ともに、過去最高！

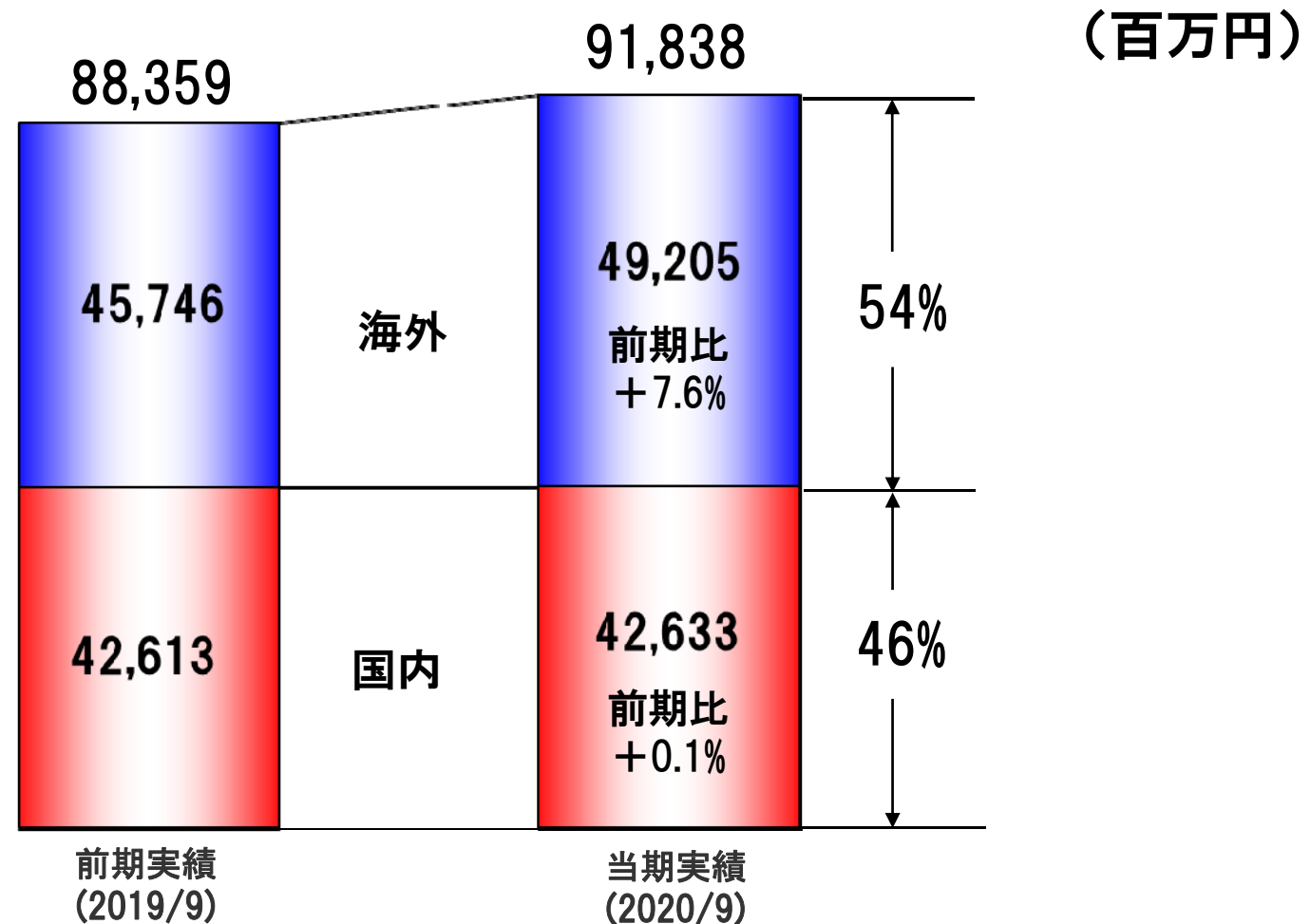
(百万円)

	前期実績 (2019/9)	当期実績 (2020/9)	増減	当期計画 (2020/9)
受 注 高	88,359	91,838	↑ +3,479 (+3.9%)	—
※ 受 注 残 高	118,576	148,807	↑ +30,231 (+25.5%)	—

※受注残高：受注済で来期以降売上可能な総額

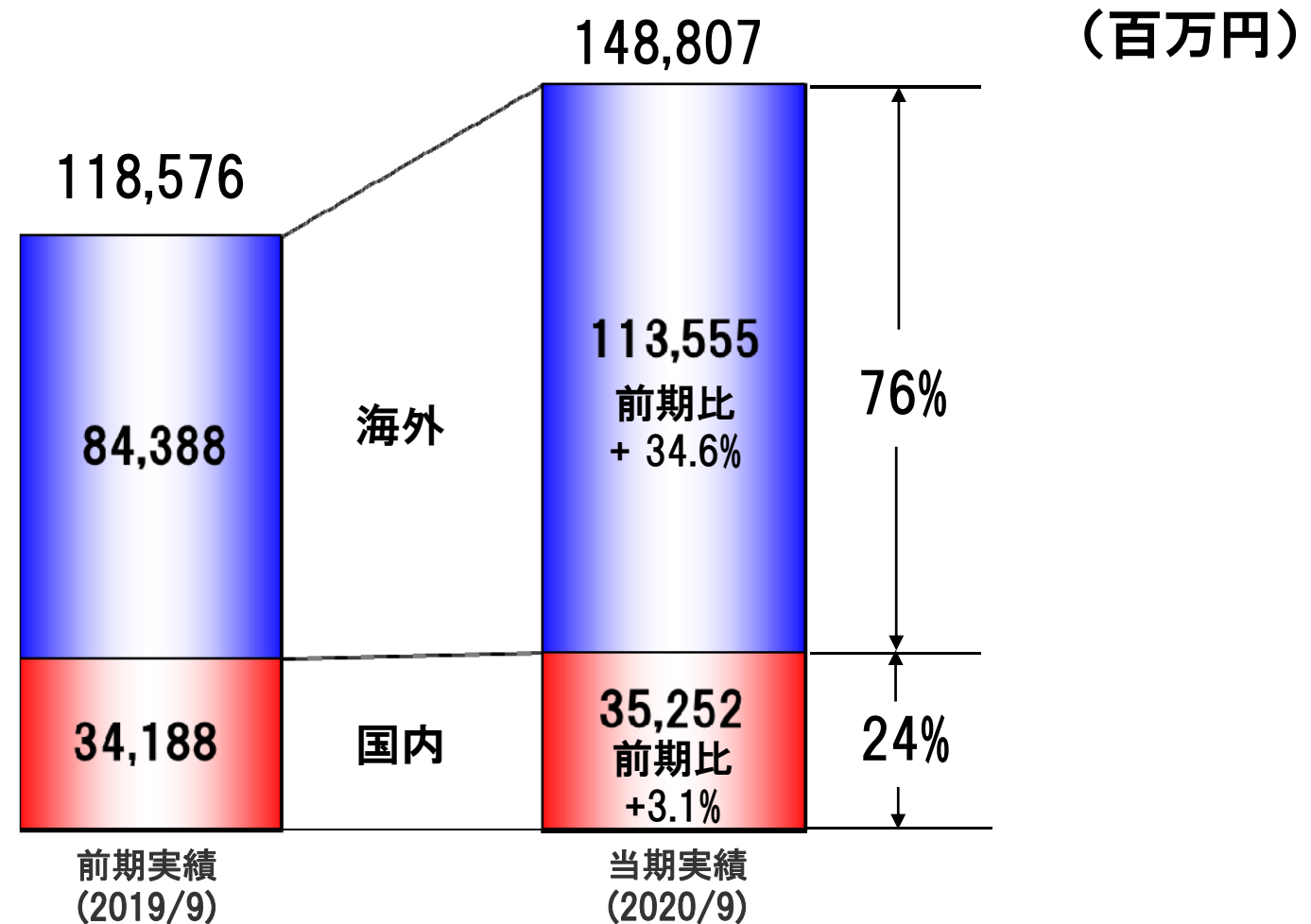
(2)連結受注高 国内外市場別

- 国内は、再開発関連の受注が減少するも、防災減災関連等が堅調に推移
- 海外は、開発途上国でのインフラ整備の需要は依然旺盛



(3)連結受注残高 国内外市場別

■海外は売上高4年分以上の受注残高を確保



(4)連結売上高、利益

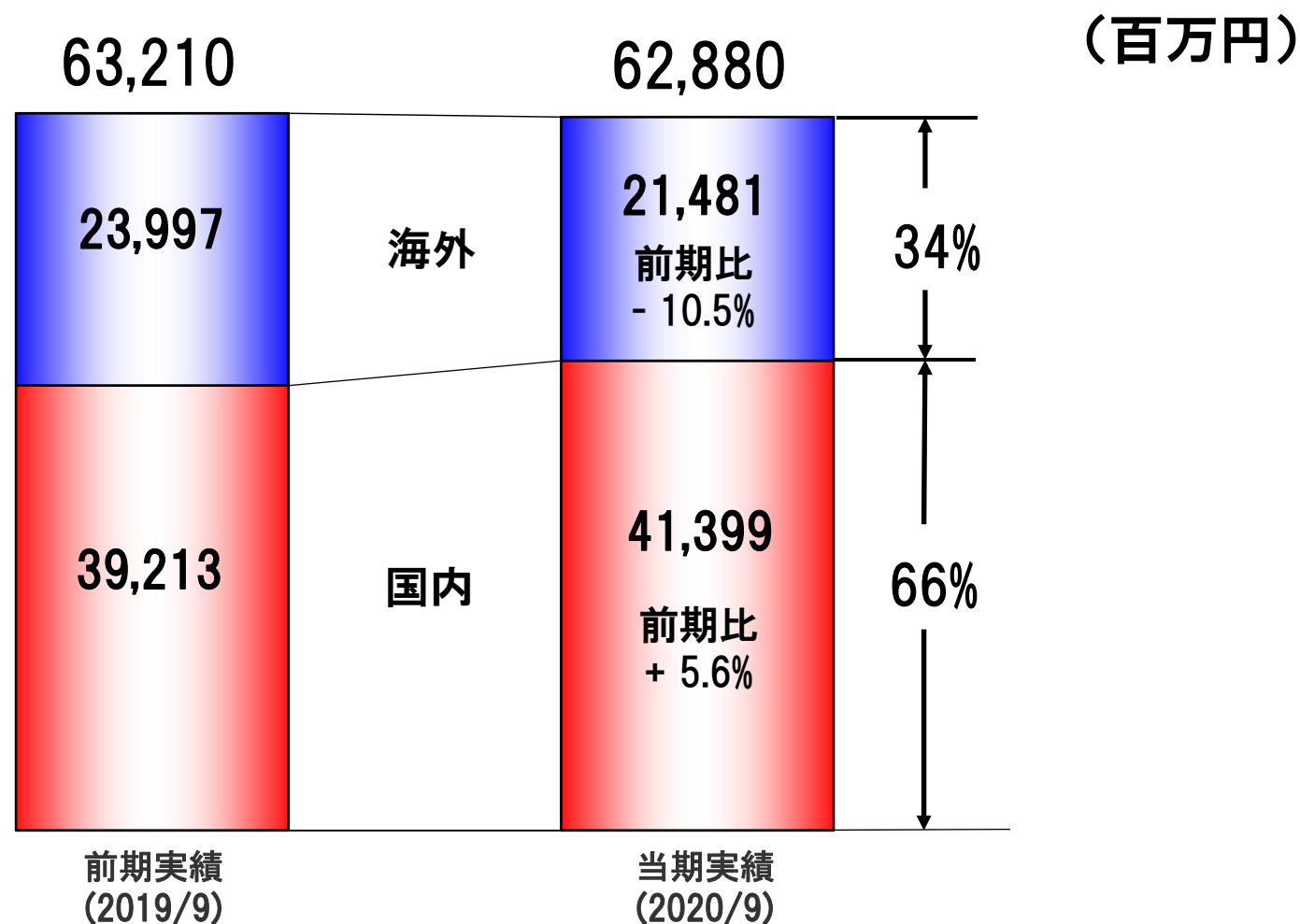
- 新型コロナに伴う海外市場の売上減を国内市場の売上増で補完し、売上高は前期並を確保
- テレワーク整備等による業務の効率化により、利益が向上

(百万円)

	前期実績 (2019/9)	当期実績 (2020/9)	増減	当期計画 (2020/9)
売上高	63, 210	62, 880	－ 330 (－ 0. 5%)	63, 500
営業利益	2, 424	2, 707	↑ + 283 (+11. 6%)	2, 650
経常利益	2, 069	2, 538	↑ + 469 (+22. 7%)	2, 590
当期純利益	1, 344	1, 535	↑ + 191 (+14. 2%)	1, 680

(5)連結売上高 国内外市場別

- 国内は、新型コロナウイルスの影響軽微で引き続き拡大
- 海外は、外出禁止や渡航禁止等の影響により減少



2. 2020年9月期 成果ハイライト



(1)事業創造・拡大に向けた強化方針(個の強化)

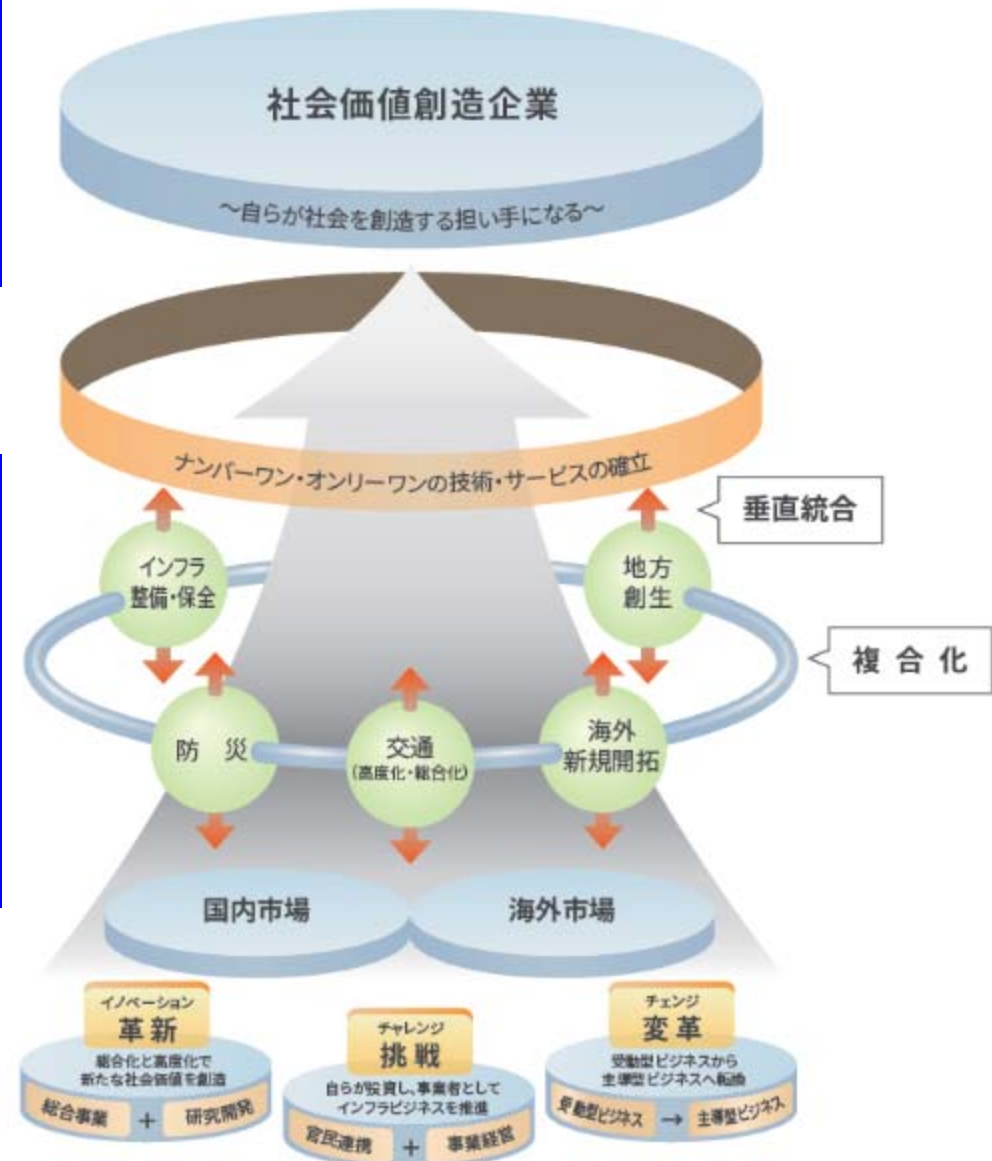
【ビジョン】

社会価値創造企業
～自らが社会を創造する
担い手になる～

【中期経営計画】

<強化方針(個の強化)>

- 重点化事業により、
ナンバーワン・オンリーワンを確立
- 総合事業、研究開発を推進し、
新たな社会価値を創造



(2)重点化事業における事業創造・拡大

■当期は、83件の重点化プロジェクトを実施

重点化事業		重点化PJ					
		前期実績 (2019/9)			当期実績 (2020/9)		
		OCHD	各社	計	OCHD	各社	計
①	インフラ整備・保全	6	27	33	5	18	23
②	防 災	2	15	17	2	8	10
③	交 通(高度化・総合化)	2	14	16	2	13	15
④	地方創生 <ul style="list-style-type: none"> ・再生可能エネルギー/ スマートコミュニティ ・地域活性化 ・民間開発 ・事業経営 	3	21	24	3	25	28
⑤	海外新規開拓	6	—	6	6	1	7
合 計		19件	77件	96件	18件	65件	83件

(3)重点化事業(インフラ整備・保全)

＜インフラ整備・保全＞

全国初ECI方式(田原本町仕様)導入を含めた成果報告(奈良県田原本町)

- ・ 全国初となるECI方式を導入し、その成果をガイドラインとして策定するとともに、「橋梁包括発注事業に関する基本方針(案)」をまとめ、今後の維持管理の方向性を明確化
- ・ 今後、道路ストック全体における維持管理の最適化を図るべく共同研究を推進



記者発表の様子

■BIM/CIM一般化に対応する社内資格制度を制定、人材育成を促進

- ・ BIM/CIMの一般化に向けた人材育成の促進に向け、社内研修とともに社内資格制度を制定(2022年までに400名超の有資格者を計画)
- ・ 国土交通省がBIM/CIMの原則適用を2023年度から開始する流れにも円滑に対応



3次元モデルのイメージ

(4)重点化事業(防災)

<防災>

■ AI 礫判読システム「グラッチェ」の活用実績が拡大

- ・株式会社スカイマティクス様と共同で開発した「グラッチェ」について、国土交通省の多くの砂防事務所で活用されるなど実績が拡大
- ・国土交通省関東技術事務所にて、12月から本システムが展示予定であり、今後のさらなる拡大に期待



AIによる礫判読の分析イメージ

■ 「令和2年7月豪雨災害」の復旧を支援

- ・球磨川流域で被災した橋梁・道路に対し、直ちに現地入りをし、被災状況の調査・把握、復旧に向けた調査・設計を実施



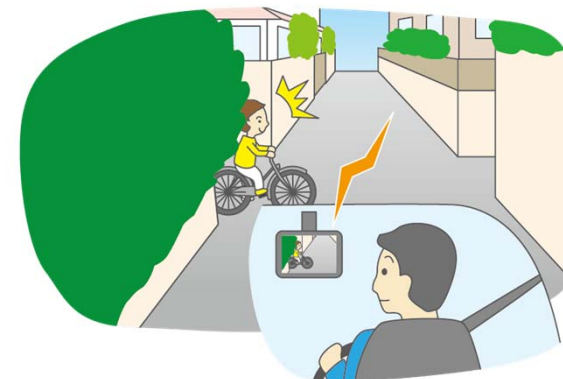
橋梁崩落の様子

(5)重点化事業(交通(高度化・総合化))

<交通(高度化・総合化)>

■「DRIVE CHART」を活用した交通事故削減等の事業で業務提携

- ・(株)Mobility Technologies様が展開する交通事故削減支援サービス「DRIVE CHART」のデータを活用した業務提携契約を締結
- ・ドライバーと道路インフラの両面から交通事故対策や渋滞対策などの課題解決を実施



DRIVE CHARTのデータ活用例のイメージ

■自動運転社会における交通流を再現し、道路交通施策を支援

- ・交通流ミクロシミュレーションソフト(FMAS)を自動運転社会に対応できるように改良・開発
- ・今後、自動運転社会を見据えた交通技術の高度化を推進し、総合的な交通まちづくりに貢献



交通シミュレーションイメージ

(6)重点化事業(地方創生)

<地方創生>

■開成町北部地域 地域交流拠点施設「atelier hacco」オープン

(神奈川県開成町)

- ・指定管理を実施しているあしがり郷「瀬戸屋敷」に新しく地域交流拠点施設をオープン
- ・農産物直売所等のハード整備を核に、これまで展開してきたソフト事業を継続的に発展し、地域ブランドの価値向上を目指す



テープカットの様子

■中津川市内で2カ所目の小水力発電事業を開始(岐阜県中津川市)

- ・地域とのパートナーシップによる再生可能エネルギー導入事業の一環として、小水力発電所の運転を開始
- ・地域の農業用設備を改修して小水力発電設備に活用し、地域課題解決に貢献



発電所の外観

(7)重点化事業(海外新規開拓)

＜海外新規開拓＞

■ベトナム ハノイ市環状3号線整備事業 開通式 (ベトナム社会主義共和国)

- ・ハノイ市にて、『ハノイ市環状3号線整備事業(マイジック-南タンロン間(5.4km))』の開通式が開催
- ・本区間の開通により、従来の交通渋滞の緩和と共に、ハノイ市のノイバイ国際空港から都心部への移動時間短縮が期待

株式会社 オリエンタルコンサルタンツグローバル



開通式の様子

■ 災害リスク管理能力強化事業に関する業務を受注 (バングラデシュ国)

- ・バングラデシュ防災救援省防災局より、円借款『バングラデシュ災害リスク管理能力強化事業 詳細設計、入札支援及び施工監理業務』を受注(約12億円)

株式会社 オリエンタルコンサルタンツグローバル



調印式

■ネパール国カトマンズ盆地スマートシティ推進に関する MOU締結

- ・ネパール国カトマンズ盆地開発公社と、カトマンズ盆地スマートシティ推進に関する MOU(合意書)を締結
- ・今後、積極的に協力・連携してスマートシティ開発を推進し、ネパール国でのスマートシティの取組みに貢献

株式会社 オリエンタルコンサルタンツグローバル



MOU締結の様子

(8)外部評価①

■令和元年度土木学会賞「田中賞」作品部門をダブル受賞

26

- ・設計に携わった「横浜港北ジャンクション高架橋」「菰野第二高架橋」の2件が、土木学会「田中賞」作品賞を受賞



横浜港北ジャンクション高架橋



菰野第二高架橋

■令和元年度土木学会賞「技術賞(Ⅱグループ)」を受賞 「ジャカルタ都市高速鉄道(フェーズⅠ)」

- ・インドネシア初の地下鉄事業、マスタープラン策定から建設・人材育成まで上流段階からオリエンタルコンサルタンツグローバルが主導
- ・オールジャパンによる取り組みで完成させたことが評価



レバックブルス駅

(9)外部評価②

■「2020 年度グッドデザイン賞」「令和元年度全建賞」をダブル受賞

- ・デザインと設計に関わった白川河川激甚災害対策特別緊急事業(龍神橋～小碓橋間)が、2020年度グッドデザイン賞(分類:ランドスケープ、土木・構造物)と、令和元年度全建賞(河川部門《災害復旧・復興事業特別枠》)を受賞



白川河川激甚災害対策特別緊急事業

■瀬戸酒造店の日本酒がフランスの日本酒コンテストで最多の受賞

- ・瀬戸酒造店で醸造した日本酒が、フランスでの日本酒コンテスト、KuraMaster2020で、昨年に引き続きプラチナ賞、ゴールド賞を受賞
- ・今回は、「セトイチはるばる」が雄町の部でプラチナ賞を受賞するなど、最多となる4部門9つの賞(最多の受賞数を獲得)



受賞した日本酒

(10)外部評価③

■第 39 回「小沢海外功労賞」受賞

- ・前田公博さんは、44 年にわたり開発途上国での多数の空港インフラ整備事業に参画
- ・各国の経済発展や復興に寄与してきた功績が評価され、第 39 回「小沢海外功労賞」を受賞



■厚生労働大臣より「生活衛生功労者(水道関係功労者)」として表彰

- ・一ノ瀬旭さんは、34 年の永きにわたり、石川県内各市町村の上水道や簡易水道における調査、設計、監理に従事
- ・県内の水道事業の普及促進・拡充に貢献した功績が評価され、今回表彰



(11) 魅力ある企業に向けた活動

■ 3ヶ国に対し、新型コロナウイルスに対する社会貢献を実施

- ・ミャンマー国鉄の本社には、マスク 4 万枚を寄贈
- ・インド国には、インド首相府が設立した「首相の市民支援と緊急事態救済基金」への寄付を実施
- ・マダガスカル国には、アツィナナナ県コロナウイルス対策オペレーション指令センター(CRCCO)に対し、食料品など緊急支援品の寄付を実施



株式会社
オリエンタルコンサルタンツグローバル

上段: ミャンマー国鉄 贈呈式の様子
下段: マダガスカル国 贈呈式の様子

■ 講演会(働きやすい職場環境づくりに向けて)・交流会を開催

- ・女性の定着・活躍に向けた「女性ネットワーク活動」が、社内講演会、交流会を開催
- ・多様な人材が生き生きと働ける職場づくりに向け、今後も活動を推進



株式会社
オリエンタルコンサルタンツホールディングス

講演会開催の様子

IV:2021年9月期 通期業績見通し



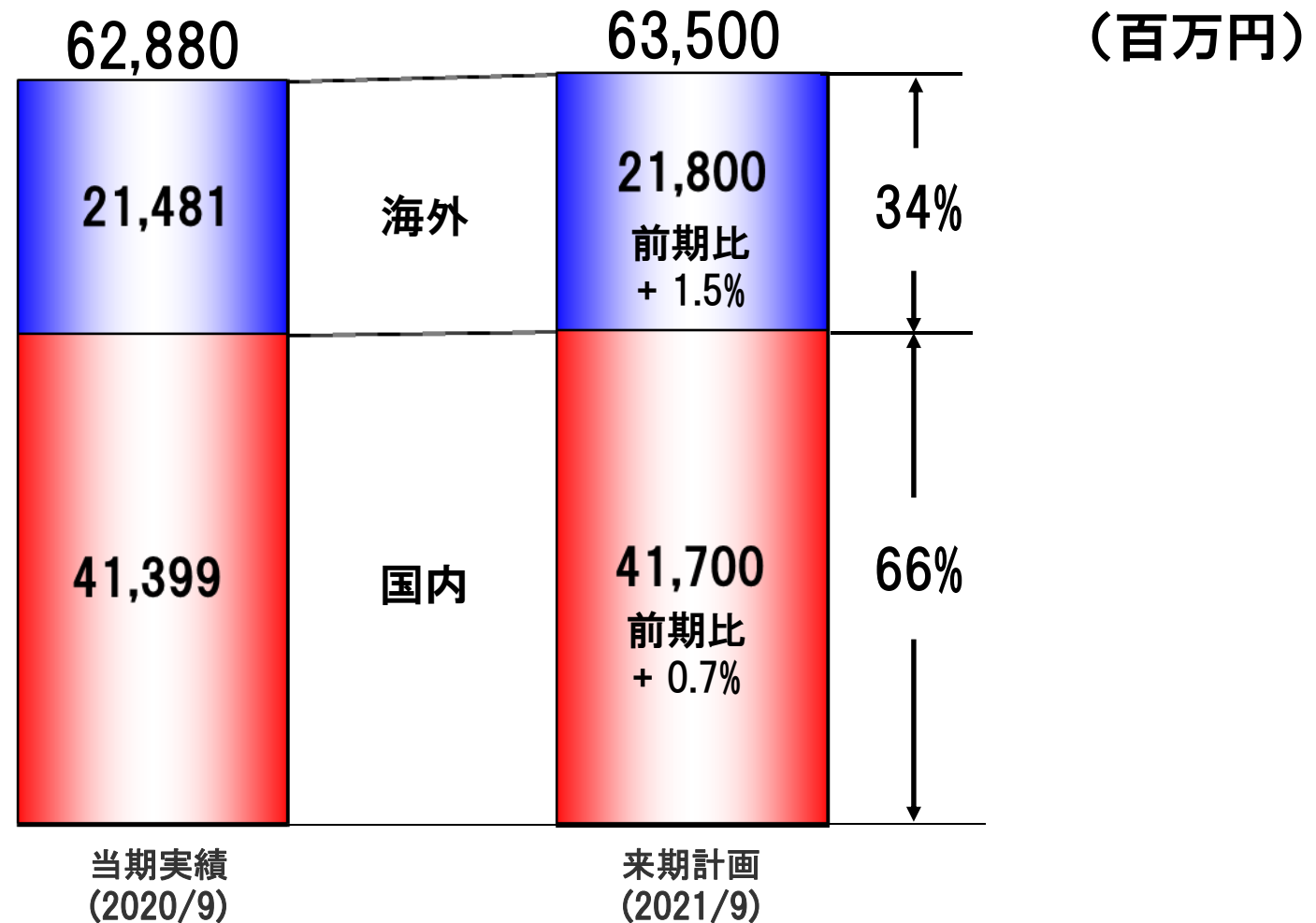
(1)2021年9月期 通期業績見通し

■売上高、利益とも当期実績を上回る、過去最高の業績を計画

	(百万円)		
	当期実績 (2020/9)	来期計画 (2021/9)	増減
売上高	62,880	63,500	↑ + 620 (+1.0%)
営業利益	2,707	2,750	↑ + 43 (+1.6%)
経常利益	2,538	2,660	↑ + 122 (+4.8%)
当期純利益	1,535	1,660	↑ + 125 (+8.1%)

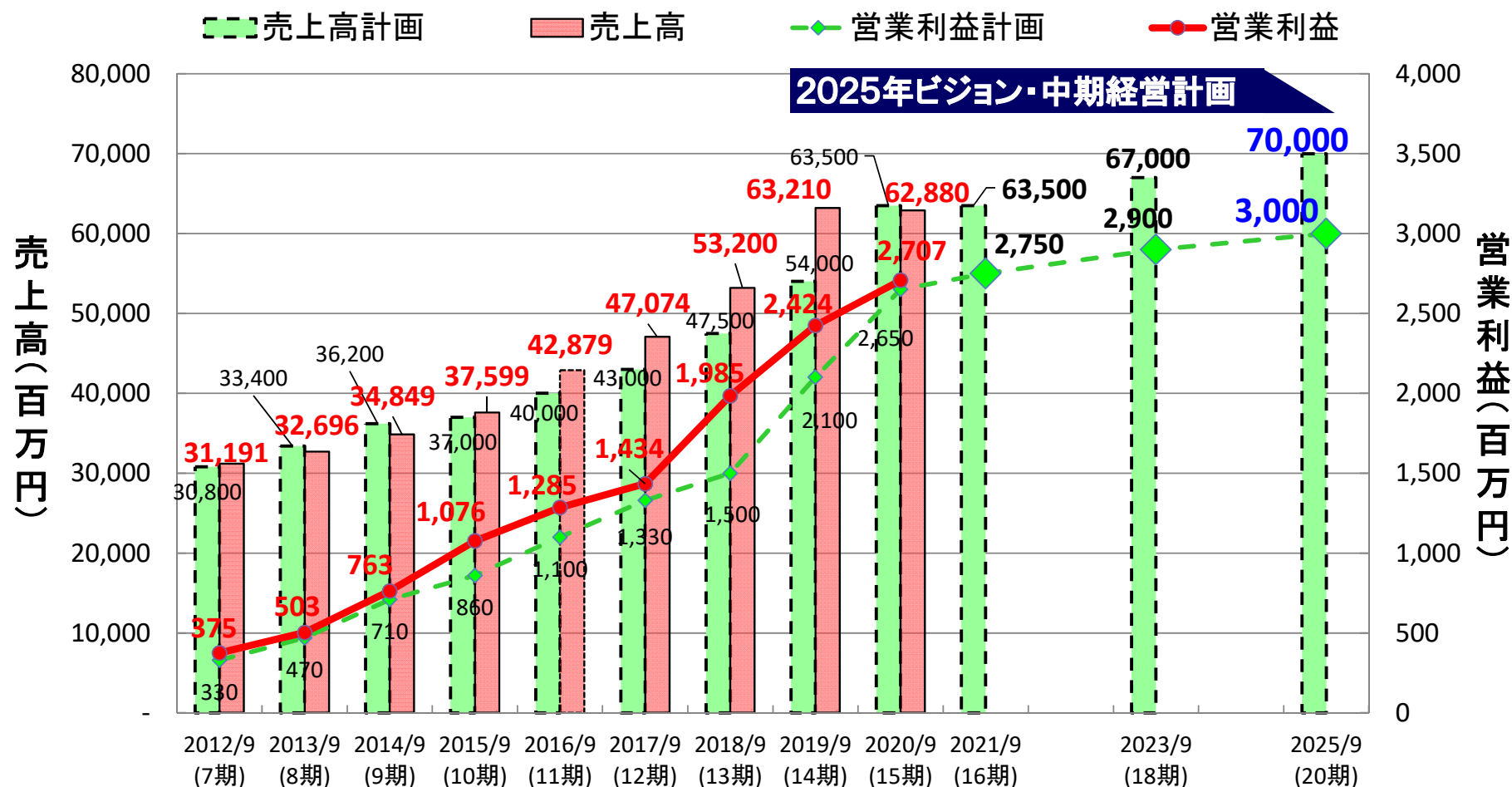
(2) 2021年9月期 連結売上高 国内外市場別

■ 国内、海外ともに、当期実績を上回る売上高を計画



(3)2025年に向けた売上高・営業利益

- 2023年9月期は売上高670億円、営業利益29億円を計画
- 2025年には売上高700億円、営業利益30億円を目指す



(4)2025年に向けた事業創造・拡大について

■2021年9月期より、国内市場および海外市場別に
重点化事業を国内5事業、海外5事業の計10事業で
事業創造・拡大をさらに促進

【当期(2020/9)まで】

国内外市場の競争力強化

重点化事業

インフラ整備・保全

防災

交通

地方創生

海外新規開拓

【来期(2021/9)から】

国内市場の競争力強化

海外市場の競争力強化

重点化事業

インフラ整備・保全
(道路系)

インフラ整備・保全
(水系)

防災

交通

地方創生

民間事業

O&M事業

スマートシティ開発事業

BIM事業

事業投資

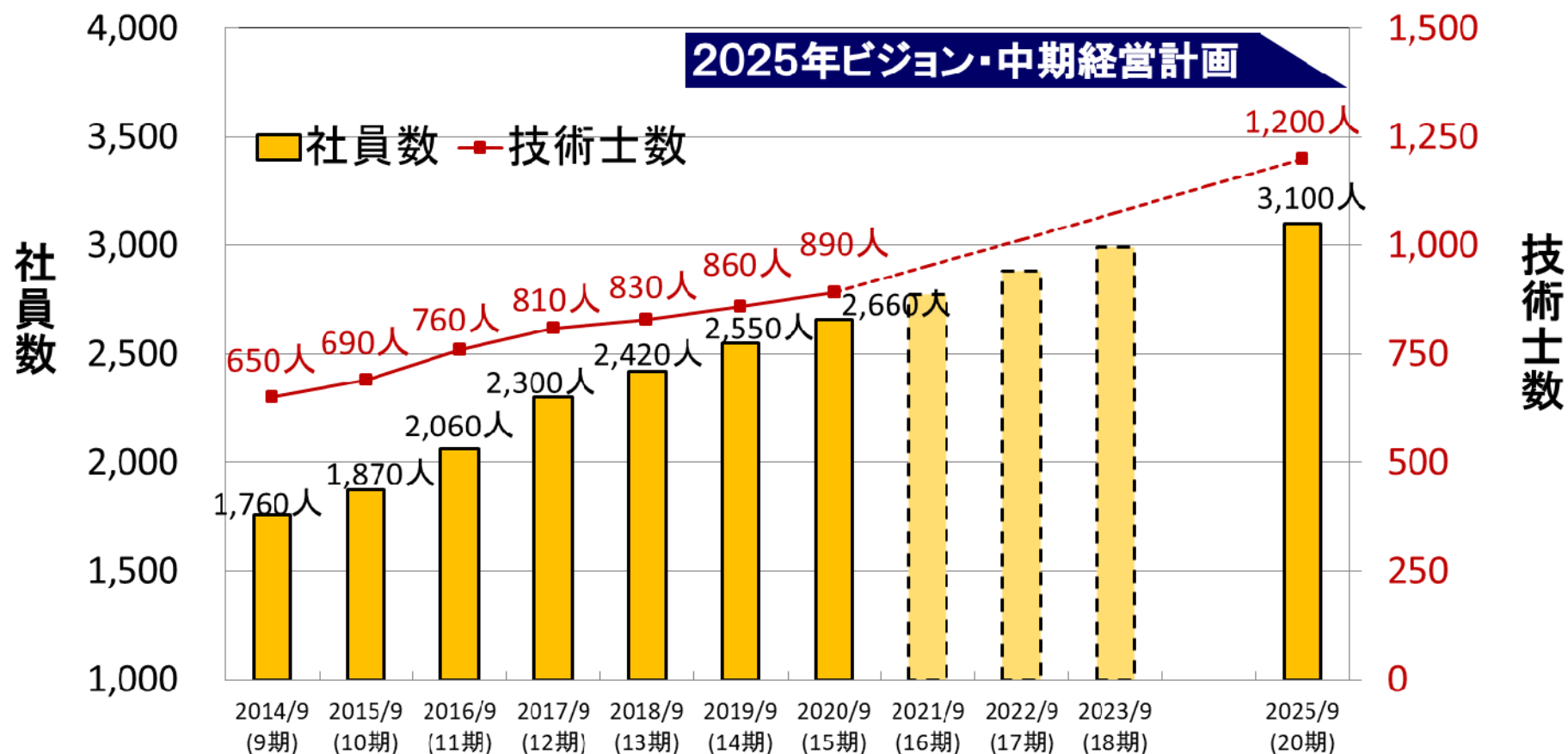
(5)重点化事業における事業創造・拡大

■2021年9月期は、102件以上の重点化プロジェクトを推進

重点化事業			重点化PJ					
			当期実績 (2020/9)			来期計画 (2021/9)		
			OCHD	各社	計	OCHD	各社	計
国内	①	インフラ整備・保全(道路系)	5	18	23	5	14	19
	②	インフラ整備・保全(水系)				2	10	12
	③	防 災	2	8	10	3	7	10
	④	交 通(高度化・総合化)	2	13	15	4	17	21
	⑤	地方創生	3	25	28	3	31	34
海外	⑥	民間事業	6	1	7	1		1
	⑦	O&M事業				1		1
	⑧	スマートシティ開発事業				1		1
	⑨	BIM事業				2		2
	⑩	事業投資				1		1
合 計			18件	65件	83件	23件	79件	102件

(6)2025年に向けた人材

■ 2025年9月期には、社員数3,100人以上、
技術士1,200人以上、博士80人以上を目指す



(7)配当方針

- 長期的に安定した利益還元のために、
次の事項を総合的に勘案して配当を決定

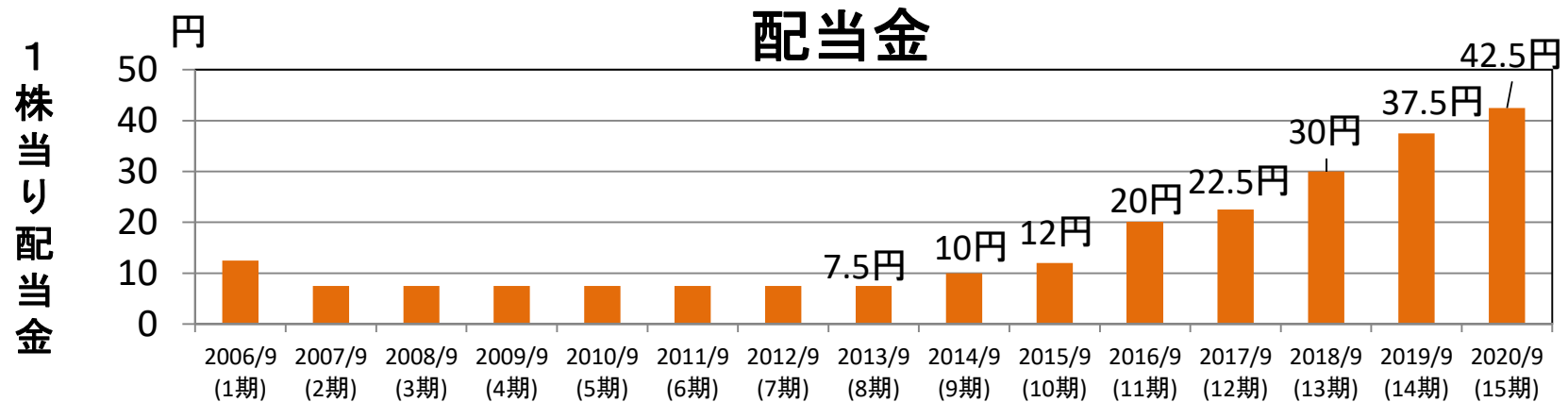
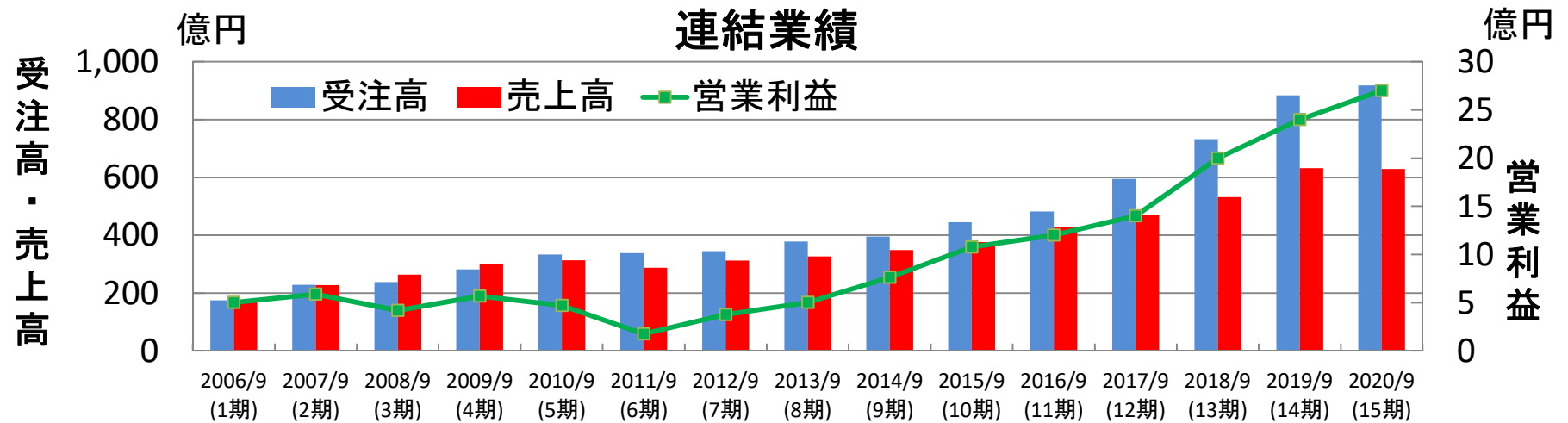
過去の連結業績の推移

今後の連結業績の見通し

配当性向・配当利回り・自己資本比率等の指標

(8)株主配当

- 7期連続の増配
- 利益の増大とともに、配当金も増額



2025年。そして、その先の未来へ。

これからも私たちは、『**社会価値創造企業**』として
“**世界の人々の豊かなくらしと夢の創造**”
に**貢献**してまいります。



本資料および本説明会の説明には、当社（連結子会社を含む）の見通し、目標、計画、戦略などの記述が含まれております。これらの記述は、当社が現在入手している情報に基づく判断や仮定に基づいており、将来における当社の実際の業績または展開と異なる可能性があります。

V : 質疑応答



お問い合わせ先



銘柄略称: オリコンHD

証券コード: 2498



株式会社

オリエンタルコンサルタンツホールディングス

〒151-0071

東京都渋谷区本町3-12-1 住友不動産西新宿ビル6号館

TEL: 03-6311-6641(代) FAX: 03-6311-6642

URL: <https://www.oriconhd.jp/>

(銘柄略称: オリコンHD / 証券コード: 2498)

問合せ 統括本部 森田 信彦

e-mail: ir@oriconhd.jp

本日はご多忙の中、
弊社の決算説明会にご来場いただき、
誠にありがとうございました。



株式会社

オリエンタルコンサルタンツホールディングス

Appendix



(1) 業界での地位①

業界上位5社に当社グループ会社が2社

建設コンサルタント部門 売上高ランキング

順位	会社名	売上高 (百万円)	前期比
1	日本工営	51,865	+2.8%
2	パシフィックコンサルタンツ	45,044	△1.1%
3	建設技術研究所	39,329	+12.0%
4	オリエンタルコンサルタンツ	23,724	+12.9%
5	オリエンタルコンサルタンツグローバル	22,961	+23.3%
6	JR東日本コンサルタンツ	21,693	+4.1%
7	八千代エンジニアリング	20,998	+2.1%
8	日水コン	18,665	+3.9%
9	いであ	18,401	+6.7%
10	エイト日本技術開発	17,701	△1.5%



出典：日経コンストラクション(2020. 4. 27)「特集 建設コンサルタント決算ランキング2020」
「建設コンサルタント部門の売上高ランキング」

(2) 業界での地位②

海外市場では当社グループ会社が1位

海外市場(ODA案件+非ODA案件) 売上高ランキング

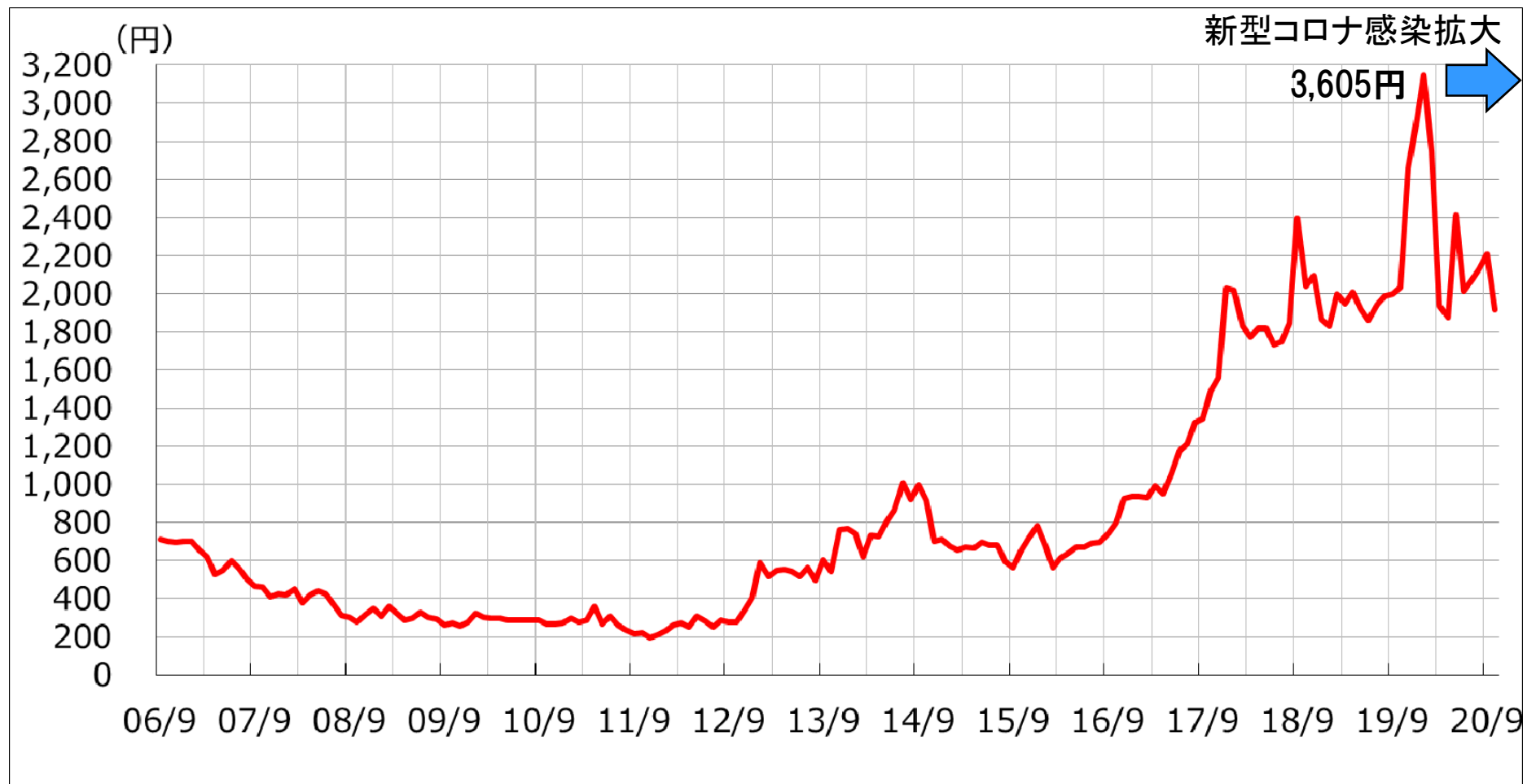
順位	会社名	売上高 (百万円)	前期比
1	オリエンタルコンサルタンツグローバル	22,596	+23.2%
2	日本工営	16,831	△7.8%
3	片平エンジニアリング	5,685	△8.6%
4	東電設計	4,047	△17.0%
5	八千代エンジニアリング	3,872	+7.0%
6	パシフィックコンサルタンツ	3,075	+39.9%
7	国際航業	2,452	△2.7%
8	セントラルコンサルタント	1,728	+23.3%
9	日水コン	1,725	△9.3%
10	TECインターナショナル	1,579	△37.4%



出典: 日経コンストラクション(2020. 4. 27)「特集 建設コンサルタント決算ランキング2020」
「ODAの売上高ランキング」と「非ODAの売上高ランキング」を合計した値を弊社にて整理
(ODA、非ODAのどちらかがランキング外の場合は、ランキング内の方の売上高を表示)

(3) 株価の推移

新型コロナウイルス感染拡大前には3,000円超え



(4)株主優待制度の拡充

2020年6月末より、株主優待制度を拡充

当社株式の保有株式数、保有期間に応じて、**クオカード**を贈呈

保有株式数	拡充前	2020年6月末拡充後
100株以上 600株未満	500円分	
600株以上 1,000株未満	3,000円分	
1,000株以上	5,000円分	保有期間5年未満 5,000円分 保有期間5年以上 10,000円分

※毎年6月末日現在、当社株式1単位(100株)以上を1年以上継続して
保有されている株主様が対象

(5)財務指標等

	単位	2017/9 (12期)	2018/9 (13期)	2019/9 (14期)	2020/9 (15期)
営業利益率	%	3.0	3.7	3.8	4.3
自己資本純利益率(ROE)	%	10.7	11.3	13.2	13.5
総資産経常利益率(ROA)	%	4.8	5.2	5.1	5.7
自己資本比率	%	28.8	24.9	25.5	25.2
有利子負債	百万円	1,319	993	2,622	1,231

(6)DX(デジタルトランスフォーメーション)の取組み例①

■「名塩道路城山トンネル」業務がi-Construction大賞 優秀賞を受賞

- ・トンネル全体を3次元モデル化し、構造の妥当性を検証、補助工法の削減を検討
- ・3次元データをVRで「見える化」し、関係機関や地元住民との合意形成に活用することで、事業推進の円滑化に貢献



道路計画シミュレーションイメージ

■防災事業にAIとICTを活用し、新たな価値を提供

- ・ドローンで撮影した空中写真を活用し、AI技術を用いた石礫の自動判読システムを(株)スカイマティクス様と共同開発
- ・国土交通省関東技術事務所にて、12月から本システムが展示予定であり、今後のさらなる事業拡大に期待

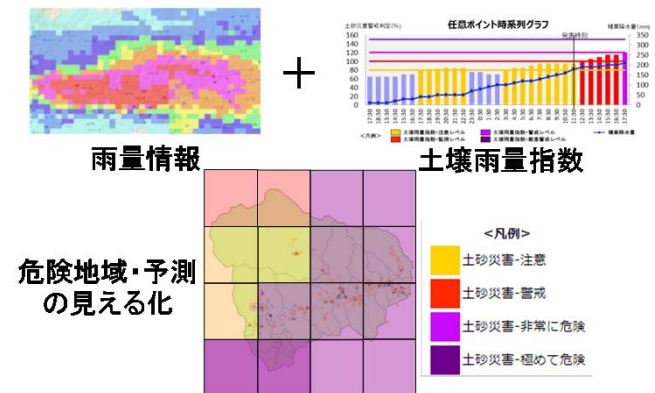


AIでの礫判読結果を重ねたオルソフォト

(7)DX(デジタルトランスフォーメーション)の取組み例②

■「土砂災害警戒情報支援システム」の開発と避難計画・行動の検証

- ・(株)ハレックス様と開発した「土砂災害警戒情報支援システム」を一昨年の4月から東京都奥多摩町に導入し、地域住民の避難誘導に関する情報提供の訓練を実施
- ・さらに、避難訓練を実施し、情報伝達および垂直避難行動の実効性を検証



土砂災害警戒情報支援システムイメージ

■AI技術を活用した安全で快適な交通環境づくり

- ・AI、ビッグデータ等の最新のデジタル技術も活用し、有効な交通事故対策や渋滞対策の立案など、安全で快適な移動を実現し、安心して暮らせるまちづくりに貢献



ドラレコのカメラ映像から車両等を自動認識

(8)ESG投資への取組み例①

■開成町の魅力向上、環境保全等に貢献(神奈川県開成町)

- ・指定管理事業の瀬戸屋敷で、ホタルの再生や環境学習、見学会など、グリーン インフラの取組みを推進
- ・子会社瀬戸酒造店では「酒蔵ピクニック」を開催し、ホタル再生の拠点として再整備した庭園の開放や酒蔵見学などを実施



ホタル再生の拠点となる瀬戸酒造店の庭園

■小田原の環境保全、農業振興、地域活性化に貢献(神奈川県小田原市)

- ・『冬みず田んぼカモ米プロジェクト』により、小田原市の環境保全、農業振興、地域活性化に貢献
- ・地域の方々とともに、①農業体験、②生き物観察会、③かまどでお米を炊いて食べるイベントを開催



農業体験イベント(田植え)

(9)ESG投資への取組み例②

■社会的責任を果たすために、様々なCSR活動を推進

- ・当社グループでは、毎年4月に本社所在地における地域社会への貢献活動の一環として、代々木公園の清掃を実施
- ・本活動は、2002年より継続的に実施
(2020年は新型コロナウイルス感染症拡大のため中止)



毎年100名超が参加

■3ヶ国に対し、新型コロナウイルスに対する社会貢献を実施

- ・ミャンマー国鉄の本社には、マスク4万枚を寄贈
- ・インド国には、インド首相府が設立した「首相の市民支援と緊急事態救済基金」への寄付を実施
- ・マダガスカル国には、アツィナナナ県コロナウイルス対策オペレーション指令センター(CRCCO)に対し、食料品など緊急支援品の寄付を実施



上段:ミャンマー国鉄 贈呈式の様子
下段:マダガスカル国 贈呈式の様子